



つながり

大上好久

令和8年5月15日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



二次元コードから
閲覧可能です。

中学生ボランティアが 地域を 活性化 !!



文部科学省は、中央教育審議会の答申(2015/12/21)の「おわりに」の中で次のように述べています。『誰かが何とかしてくれる、ではなく、自分たちが“当事者”として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな“志”が集まる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。』



「菜の花フェスティバル」で 学校を開放し ボランティアで盛り上げた 岩国西中学校を紹介します！



「焼きそば二つで800円です。ありがとうございます。…大きな声で、はきはきと笑顔で接していました。」

ありがとう。元気がいいね。若者がいると活気が出るね。 <地域住民>

今年も、中学生がお手伝いに来てくれました。とても嬉しいです。よろしくお願いします。

<地域住民>



「お金は、金種ごとに分けておくと、おつりが早く渡せるな。」…知恵を働かせて仕事を楽しんでいました。

菜の花畑では、宝探しが！



体育館では、射的が！



うどんをこぼさない様に気を付けて扱いました。とても楽しかったです。 <中学生>



野菜の販売を手伝いました。最初は緊張したけど少しずつ慣れてきました。役に立ててよかったです。

<中学生>



最初は、遠慮がちだった生徒が、少しずつ自信を持ち、笑顔でハツラツと働く姿に変わっていききました。仕事を任されることで、自分で考え、工夫し、活動することができていました。「地域の中で、自分たちが認められ、活躍できる場があり、誰かに感謝される体験があれば、子供たちは自ら未来をつくる」と言われています。地域の方と活動を共にし、貢献し、褒められるボランティア体験は、地域連携教育の魅力の一つだと感じました。

